

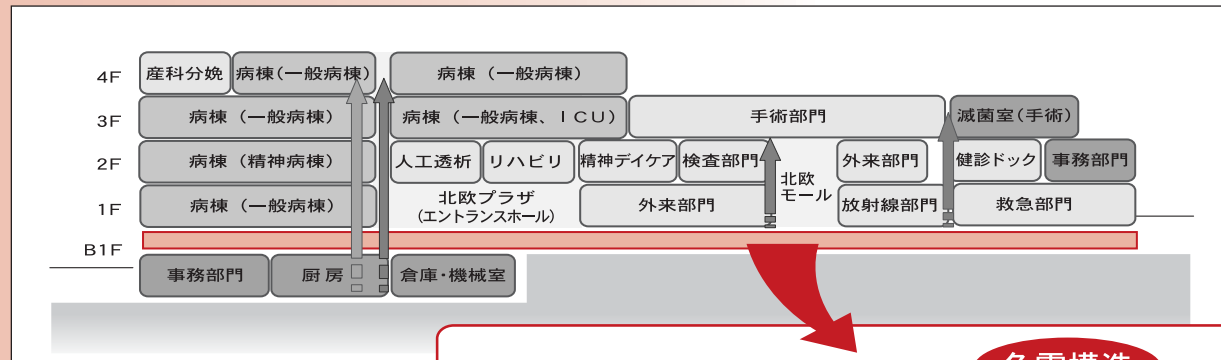
「心ある医療」「最新の医療」「信頼の医療」「効率的な医療」

北秋田市民病院 平成21年10月に開院



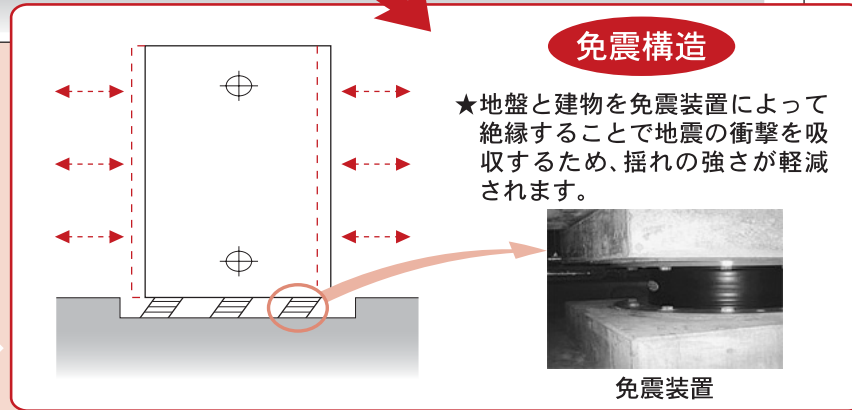
開院に向けて建設工事が進む市民病院（12月末工事進捗率69%）

コンパクトな動線で部門連携を強化した「高機能病院」

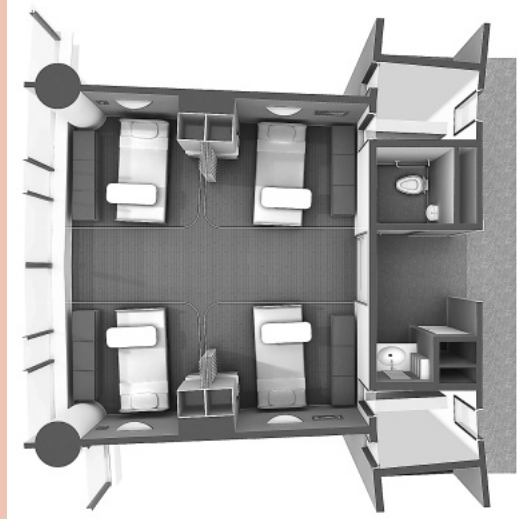


関連性の強い部門を集約してレイアウト。

地震に強い免震構造設計。



▶ 円弧状に連なる4床室は湖畔に眺望がひらけ、遠くに森吉山を望む明るい病室



快適で看護しやすい病室

病室の特徴

- ▼間口を短く、奥行きを長くすることにより、南面により多くの病室を配置することができ、看護動線も短縮できます。
- ▼ベッドサイドは廊下側、窓側ともにほぼ均等なスペースが確保でき、ファミリーコーナーにより家族がくつろいだり、添い寝したりすることができます。

病室のイメージ

- ▼円弧状に連なる4床室は湖畔に眺望がひらけ、遠く森吉山を望むことができます。
- ▼各ベッドの脇には患者家族がくつろげるファミリーコーナーを設置します。
- ▼内装は白系を基調に、木調などのあたたかみのあるアクセントカラーを想定します。

ファミリーコーナー・洗面所

- ▼ベッド脇に椅子などを置くことのできるスペースを設け、快適に長時間付き添いができるようにします。
- ▼洗面所には、車椅子で利用しやすい薄型の洗面器を設けます。

ベッド廻り(医療コンソールパネル)

- ▼医療コンソールパネルは、ベッドに横たわる患者の視線に目立ちにくい縦型ユニットを想定します。
- ▼読書や、ベッド廻りの雰囲気を出すのに便利なブラケット照明を設置します。

◆新病院に期待される役割は次のとおりです

- ① 救急医療体制の整備
- ② がん医療の充実
- ③ リハビリテーション医療の提供
- ④ 精神医療の提供
- ⑤ 結核医療・感染症対策
- ⑥ 地域医療支援病院としての機能整備
- ⑦ 臨床研修指定病院
- ⑧ 地域災害拠点病院
- ⑨ へき地医療拠点病院
- ⑩ 人口透析治療の提供
- ⑪ 情報システムの導入
- ⑫ 検診センター機能の整備

◆新病院の概要

- 【建設場所】 北秋田市下杉字上清水沢地内（北欧の杜公園隣接地）
- 【開院予定日】 平成21年10月1日
- 【病床数】 320床
- 【診療科目(21科)】 内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、精神科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、泌尿器科、放射線科、形成外科、皮膚科、歯科口腔外科、神経内科、リハビリテーション科
- 【設計者】 株式会社 榎日建設
- 【施工者】 鹿島建設(建築工事)、株式会社 榎きんでん(電気設備工事)、新菱冷熱工業(機械設備工事)
- 【約定工期】 平成19年10月11日～平成21年8月12日

北秋田市民病院は既存のJA秋田厚生連北秋中央病院、公立米内沢総合病院、北秋田市立阿仁病院の3病院の入院・診療機能を集約し、より専門的かつ高度な医療提供できる新病院として整備されます。

これにより鷹巣阿仁医療圏のみならず周辺市町村の中核病院として、市の保健・福祉事業や診療所等との機能分担と連携による一貫した地域医療包括医療体制を構築し、急性期医療、臨床研修機能、地域医療支援機能の役割を果たすことを期待されています。